

特製のチャーハン

新座市立池田小6年

小林 優姫 12 (新座市)

今も忘れられない母の味。

母と私が「にんにんにんごはん」と呼んでいた母特製のチャーハンです。

小さい頃から大好きなにんにんごはんは、とても簡単でよくお昼に作ってもらいました。できたてのにんにんにんごはんを、ほんのちよつと口にするだけで心が温かくなつたことを覚えています。きつとそれは、母がおいしくなるように愛情たっぷりで作ってくれていたからだと思います。食べるたびに私が「おいしい」と言うのと、母は必ずにんにこ顔で「よかった」と応えてくれました。母が亡くなつてからは、にんにんにんごはんを食べる機会もなくなりましたが、時々また母のチャーハンを食べべたくなることがあります。私にとって世界一の母のチャーハンを、自分自身で作ってみようと思います。レシピは分からないけれど、自分が覚えていいる味を元にどんどんなどつて、少しでも近づけるように頑張りたいです。